



楽しく子育て!

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第153号

発行日

2020年5月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」

★司書のオススメ本～5月の新着図書から～

『予約のとれない家政婦makoの心底おいしい!手抜きご飯MYベスト』
mako/著 東京書店/刊 2020.4

タイトルは「手抜きご飯」ですが、紹介されているのは、通常の作り方よりも簡単、効率的、経済的なうえにとっても美味しい、まさに言う事なしのアイデアレシピばかりです。美味しそうな料理の写真をしていると、普段、料理を面倒だと思っている人も「ちょっと作ってみようかな。」という気持ちになりますよ。



『いま、子どもに伝えたい性のQ&A 赤ちゃんってどうやってできるの?』
アクロストン/著 主婦の友社/刊 2020.4

本書によると、「子どもからの性に関する質問には、ごまかさず、科学的事実を落ちついて伝えるのがポイント」とのこと。また、子どもが小さいころから家庭で話せる環境を作っておけば、思春期に入っても話しやすいのだそうです。

性について、子どもに何をどう話してよいのか分からないという方におススメの一冊です。



<5月の新着図書～ほかにもこんな図書が入りました～> ()は棚番号と内容です。

(支援1-1 夫婦関係)

・『#ゴミ捨てる うちの旦那はティッシュをゴミ箱に捨てられない』
gomi_sutero/著 KADOKAWA/刊

(支援1-3 出産)

・『時代おくれのいいお産』
久 靖男/著 現代書館/刊

(支援2-1 生活術)

・『スマホでもできるあきの新ズボラ家計簿』
あき/著 秀和システム/刊

(支援2-5 幼稚園)

・『「アレルギーにならない」子どもが育つ本』
リッケ・ローセンゲレン/著 イザラ書房/刊

(支援3-1 親として)

・『泣いてる子どもにイライラするのはずっと「あなた」が泣きたかったから』 福田 花奈絵/著 サンマーク出版/刊

(支援3-2 子育てのヒント)

・『大谷翔平・羽生結弦の育て方』
児玉 光雄/著 幻冬舎/刊

(支援4-2 子どもと遊ぼう)

・『いちばんやさしいキャンプ入門』
長谷部 雅一/監修 新星出版社/刊

(支援4-5 学力)

・『小学生の子の成績に最短で直結する勉強法』
菊池 洋匡/著 実務教育出版/刊

(支援5-1 特別支援教育)

・『僕が手にいれた発達障害という止まり木』
柳家 花緑/著 幻冬舎/刊

(支援5-4 体力)

・『家族会議のススメ』 吉弘 淳一/編・著 晃洋書房/刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

季節のお役立ち本 ～親子で作ろう！おうちご飯～

小学校が休校になり、最初は、テレビを見るかゲームをするかだった息子ですが、長い「おうち生活」を送るうちに、家事を手伝ってくれるようになりました。特に料理は、「もともと好きだった」とのことで、楽しそうに手伝ってくれます。

このところの外出自粛生活で、「毎食、家族の食事を作るのがストレスになっている」というお母さんの声を耳にします。私も時間に追われながら、一人慌ただしく料理をするのは、正直苦痛でした。それが、息子と一緒に作ってみると、料理って結構楽しいものなんだなあと思い直すことができました。

6月は「かがわ食育月間」でもあります。お子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。



『子どもといっしょに季節の食しごと&保存食』 江口恵子／著 株式会社マイナビ出版／刊 2015.4

子どもと一緒に季節を感じながら、作れる料理や保存食が紹介されています。

例えば、夏に子どもと一緒にできる保存食づくりには、梅干し、赤じそシロップなどがあります。夏のお菓子には、ラムネ、グミなど。一度作れば、しばらくの間、子どもと一緒に味わうこともできるのもうれしいですね。

●子育て支援コーナーの棚番号2-2の棚には、他にもおうちでお子さんと一緒にできる料理の本があります。

・『子どもと作る！かんたんクッキング』

いただきますごちそうさま編集部／編 メイト／刊

・『子どもと楽しむ季節のスープ』 東條真千子／著 今井出版／刊

・『子どもと一緒にアイシングクッキー』 新井 知加子／著 日東書院本社／刊



<子育て支援担当より>

もうすぐ学校が再開されそうですね。

この数カ月、外出を控えていたので、休みの日に家でいる時間が増え、子どもと一緒にゆっくりと過ごすことが出来ました。

出かけられない不自由さもあったけど、家でできるいろんなことにチャレンジできたと思います。思い切って、我が家のシンボルツリーの剪定も息子に任せてみたところ、予想以上に上手く出来ていました。出来栄を満足そうに眺める息子の顔がとても印象的でした。

